



山行報告
行道山・織姫神社へ

--- 関東ふれあいの道・栃木県1
高橋 素子

JR 両毛線足利駅に 9:00 集合し、タクシー 2 台で行道山浄因寺入口まで向かう。コンクリートの坂道を歩き始めた所で数日前に降った雪が凍結しており、何人かが滑ってしまいとても怖い思いをした。急な石段をどンドン上り行動山浄因寺に到着する。弾丸絶壁に作られた寺は「関東の高野山」とも言われ、参道から山頂まで様々な野仏が 3 万 3 千体もあるそうだ。岩の上には、浄因寺を見下ろすようにお茶室「清心亭」があり、葛飾北斎が「足利行動山雲のかけ橋」として版画に描いた所だそう。さらに急な階段を登り、振り向くと素晴らしい絶景に巡りあえることが出来た。10 分ほど登ると、小さな寝釈迦の石像がある行動山のピークに着いた。小さいとは聞いていたが、本当に小さいのでちょっとがっかりしてしまっただが、周りに様々な石仏を従え、天気も良く心地よさそうに寝ていらっやいましたね。

そこから今回山行の最高点(441.7m)三等三角点のある石尊山見晴台へ。好天に恵まれ真っ白な浅間山、榛名山、赤城山等ぐるりと見渡せた。そろそろお腹もすいてきたので、途中のピーク(大岩山)でお昼にする。さすが「関東ふれあいの道」要所々に、ベンチとテーブルが設置されており、ゆったりと食事をする事が出来た。

次は、日本三毘沙門天の一つ、行基上人が開山したと伝えられている大岩山最勝寺に向かう。境内には、桃山時代創建の(山王社)等がありとても趣のある古いお寺だった。展望も良くここまでは車で来ることが出来るので、地元の人も子供連れで訪れていた。

又いくつかの小さなピークのアップダウンを繰り返しながら、岩場が現れたり、見晴らしの良い場所があったり、きょろきょろしながら両崖山に向かった。両崖山は足利城跡だが、今は山頂に本丸跡の石垣が残っているのみだった。しかし、もしかしたらこのぐるりとしたくぼみが堀り跡ではないかと散策しながら、織姫神社まで下りてきた。

織姫神社は山に面した、ゆったりとした威厳のある神社で、公園なども隣接されており、市民の憩いの場所になっている様だった。織姫神社には三角点があるはずだと、皆で探したが見つからず、レストラン脇にある進入禁止で柵がしっかりしてある、こんもりとした古墳の頂上付近だろうと地図を見ながら皆で納得した。街に下り足利学校跡の脇を通り、饗阿寺を見学して足利駅へ向かった。

今回の山行は、栃木県の名勝第一号に指定された行動山浄因寺を出発し、整備された「関東ふれあいの道」神社仏閣の中を足利が持つ歴史を感じながら、パワースポットの中を歩いて来たような感じがした。

街の中で新年会を兼ねて反省会のお店を探すがなかなか見当たらず、駅前の「庄や」がやっと見つかり皆で一安心するが、開店が 5 時からですと断られる。私達が 40 分くらい前の入店だったが粘り勝ち、「飲み物だけなら何とか出しますが」、店長のご厚意に皆で感謝感激をしてしまう。地元名物宇都宮餃子、モツ煮込、そして地酒(大西さんがザックをごそごそしていると思ったら、なんとフグヒレを出してくれた。お店の人に頼んでとても美味しいヒレ酒に)等々お腹いっぱい食べて飲んで、喋って楽しいひと時を過ごした。

楽しい山行ありがとうございました。



大岩山にて

参加者: 平野リーダー・北野・近藤・大西・今井・高橋(計 6 名)
 2013 年 1 月 19 日(土) 晴

コース: 足利駅 - 行動山浄因寺 - 石尊山見晴台 - 剣ヶ峰(大岩山) - 大岩毘沙門 - 両崖山 - 織姫神社 - 足利駅

山行報告
AGC 読図山行 子の権現から吾野へ

高田 容子

3 月 16 日(土)、西武秩父線の西吾野駅前に午前 9 時集合し、子の権現を経由して、吾野駅を目指す読図山行が実施された。自称晴れ男の参加の効果か、風もなく穏やかな晴天に恵まれた山行日和であった。地形図などの資料とコンパスを手に、各自が自分の位置と進むべき方向、距離、およその所要時間を確認しながら、オレンジ色の花粉をたっぷりつけた杉林の中を汗と鼻水を流しながら進んだ。

国道から林道への最初のポイントは、送電線と記念碑という分かりやすい目標物があり、9 時半前に順調に通過した。次のポイントである徒歩道への分岐は、民家や谷が目印となったが、目標の一つである民家を確認して安心し、話に浮かれているうちに、分岐の入口をうっかり見過ごすところであった。兎に角、読図山行

初心者にとっては、地図を読んで周囲の景色を確認し、コンパスで進むべき方向を定め、細い山道を踏み外さないように注意しながらの山行は、日頃使っていない神経を集中させるよい訓練であった。

子の権現に至るまでは、急登に息を切らせ、緩やかな下りですし息をつくことの繰り返しであった。10 時過ぎに今井氏から寄居町の鐘撞堂山に向かっている遠山氏に無線で呼びかけを行ったところ、応答があり、互いの山行の参加状況などの連絡を取り合うことができた。子の権現の手前で、下りの登山道の入口を確認しておき、足腰が丈夫になる様様にお参りした後、吾野への下りに入った。間もなく、開けた日当たりのよい場所で 30 分程の早めの昼食をとり、12 時には吾野駅に向って下り始めた。

これといった特徴的な地形や目標物がない鞍部のところなどは、自分の現在地が地図上のどの辺りなのか、地形図から立体的な地形を読み取り、自分の位置を確認するのが難しかった。歩き始めて 1 時間近く経過したところで、GPS による現在地の確認を

行い、北緯 35 度 53 分 56 秒、東経 139 度 12 分 19.7 秒の地図上の位置を確認した。その後、三角点のあるポイントへ向かって進んでいる筈であったが、途中、道が二股に分岐し、一方は倒木が道を塞いでいたにも拘わらず、ピークへ行くための登り方向と思い込み、苦しい坂を上り切り 532 メートルのピークに到着。しかし、三角点のあるピークではなく、先に進む道もなかったことから、道を間違え、辿るべきルートから外れたことが判明し、気を取り直して分岐地点まで戻り、正しいルートへ進み、522.1 メートルの三等三角点に立った。陽が当たっているところの分岐では、影の方向の変化にも気を付ける必要があることを教えていただいた。その後、25000分の1の地形図の等高線の間隔では表せないくらいの距離ではあるが、両側が切れてざらざらと乾燥した滑り易



子の権現 金のわらじ 前

山行報告

多摩川分水界踏査 < 唐木田から多摩境 >

今井 秀正

昨年 3 月 24 日に境川との分水界のうち、横浜線相原駅西方まで歩きました。一年ぶりの 3 月 31 日に相原から小田急線唐木田駅南方の鶴見川との分水界の区間を歩くことになりました。今回は多摩川の下流から上流へ向かう踏査でした。

天気予報では終日弱い雨ということでしたが、幸い、全く降られることはありませんでした。

唐木田駅 9 時半集合で、今回のメンバーは北野代表、鈴木会員、今井の 3 名、年齢はそれぞれ干支で言う一回り以上はなれたパーティーになりました。

唐木田駅南方に清掃工場があり、その南の稜線が鶴見川との分水界で、稜線を南へ下った付近が鶴見川の源流です。稜線の北側は多摩ニュータウンとして、数十年前に開発された市街地ですが、稜線をはさんだ南側は一面新緑の林で、南北の対比に驚かされます。

標高 150m 前後の分水界は町田市と多摩市の境界で、東京都が整備した公園をいくつか通り抜けて西へ進みます。ところどころが農地や雑地の様相ではあるものの、大学や、企業の研修センターの脇を通り抜け、ハイウェイのような都道 158 号線(南多摩尾根幹線道路)を北へ南へと数回渡ることになります。長池公園付近からは町田市と八王子市の境界に変わりますが、再び 158 号線を南へ渡りなおし、分水界は、相変わらず境界線と重なっています。ここでは新しい道路が作られた際に、分水界が切られた模様です。この公園から南へ 500m ほどすすむと多摩斎場がありますが、ここで境界線とともに分水界は鋭角に北西向きに変わります。この付近からは鶴見川ではなく境川との分水界に変わりますが、気がつくとも鶴見川源流を見た雑木林は既に消えてしまい、住宅の屋根ばかりといってよいほどに変化します。斎場裏が分水界で北西へ進むと、今度は 158 号線のトンネル上を北側へ渡り、小山内裏公園という整備された都立公園になります。公園内を抜けるハイキングコースが分水界になっていますが、ここはその昔、戦車道路と言われていた道路の跡とのことです。

公園へ入った付近で遅めの昼食をとったあと、公園北側の多摩川側にある大田切池を見るなど、分水界を離れた散策のおかげ

い急な下りがあり、リーダーが張った細引きにより、皆安心して無事に通過することができた。地図読みと急下りで喉もからからとなり、水分補給の休憩をとって、更に意外と気の抜けない道を下り続け、15 時には、6 名全員無事に吾野駅前に到着した。吾野

駅前には湧水が引いてあり、渴いた喉を潤し、さらに有志による飯能駅前での水分補給も行われ、読山山行の疲れを癒した。

今回、ほぼ 1 年間の病氣療養から復帰して、初の山行という鶴田文史の健脚と磨かれた頭の筋肉は健在であったことを報告する。

日時 3 月 16 日(土) 天気:晴れ
参加者:大西(リーダー)、今井、加藤、鶴田(泰)、高橋、高田(計 6 名)

で、カタクリの群生を見ることが出来ました。公園をほぼ一周したこともあって、すでに 15 時頃、相原駅までの予定を変更して、とりあえずここまでということにし、公園西端の出口から京王線多摩境駅へもどり、本日の踏査終了ということにしました。

今年は早めに咲いた桜が冷え込みもあって比較的長持ちしてくれたおかげで、一日中場所を変えつつ、お花見を楽しむことが出来ました。こぶしの花もところどころで見ることができ、足元には tachibana の薄紫もたくさん見ることができました。

また、今日のコースの中で、三角点 3 箇所をチェックしましたが、長池公園東の 168.0m は米軍の施設、“Yuki antenna site”というネットフェンス内のように、確認ではきませんでした。斎場北西稜線の 180.2m は 4 等、小山内裏公園西端の 182.3m は 3 等三角点で、三角点の“密度”が高いように思いますが、市街地開発に関係しているようです。



長池公園展望台

日時: 3 月 31 日(日)
唐木田駅 9:40 - 清掃工場 10:00 - 上小山田町 10:55 - 山王塚脇 11:25 - 長池公園 11:50 - 斎場北西三角点 12:30 (昼食) - 大田切池 14:10 - 三角点 15:00 - 小山内裏公園西出口 15:15
参加者:北野、鈴木、今井(計 3 名)

AGC レポート vol-50 2013 年 4 月 4 日発行
発行: 日本山岳会・山岳地理クラブ(代表:北野忠彦)
〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-4 日本山岳会 気付
TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441
編集担当:近藤 E-mail:hikarikon@nifty.com